



H29. 10. 6. №1364
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行＝指導部漁業振興課
URL:<http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

業における女性の参画の推進」が盛り込まれたことに触れ「長年訴えてきた男女共同参画の機運が高まってきている。今回のプログラムを通じ、多くの方々と触れ合い、感じたことや思ったことを地元を持ち帰り、今後の活動に役立ててほしい」と挨拶しました。

プログラムでは、第22回全国青年・女性漁業者交流大会で水産庁長官賞を受賞した益田沙央里さん（熊本県）と女性チャレンジ賞を受賞した橋本千春さん（大分県）の二人による事例発表があり、苦勞しながらも女性ならではの視点で地域に根差した取り組みを続け、着実に売り上げを伸ばし、さらに飛躍を目指す姿に参加者から大きな拍手が鳴り響きました。

また、行政からのアドバイスとして農林水産省経営局就農・女性課の佐藤一絵課長による「漁村における女性活躍の必要性～農業の事例から考える」と題した講演も行われ、その後、東海大学海洋学部 関いずみ教授をコーディネーターに「私たちが理想とする20年後の地域の姿とは？」をテーマにグループディスカッションが行われ、現在の女性部や女性部の将来像などについて、活発な意見交換と各グループの話し合いの結果が発表されました。

翌日は、JAよこすか葉山の農産物直売所「すかなごっそ」とJA長井直売所を視察、農業における直売所の流通システムを学び、2日間の充実した研修を修了しました。

1. 漁船海難防止講習会を実施

— 県下3漁協 —

本会では、漁船の海難及び海中転落による事故を減少させ、操業の安全に関する普及啓発を行うことを目的として、就業後5年以内の漁業者とその所属漁協の組合員を対象に、漁船海難防止講習会を県下3カ所において開催しました。

8月30日、南駿河湾漁協吉田支所において開催した講習会には、受講者38名（うち新規就業者2名）が参加、県水産振興課高田伸二技師より「ライフジャケット着用義務について」解説を受けた後、国立研究開発法人水産研究・教育機構「水産工学研究所」水産土木工学部水産基盤グループ 佐伯公康主任研究員を講師に「漁業カイゼン講習会」が行われました。

また、座学終了後は、新規就業者らに救命胴衣着用の効果を実感してもらうため、実際に海の中に入って行う実習訓練として、ライフジャケット飛込み訓練が清水海上保安部指導のもと実施されました。

同講習会は、9月13日に由比港漁協、9月15日には、静浦漁協でもそれぞれ開催され、由比港漁協では受講生43名（うち新規就業者4名）、静浦漁協では受講生52名（うち新規就業者2名）が参加、座学では、「水産工学研究所」生産システム開発グループ長 高橋秀行氏が講師となり、また飛び込み訓練では御前崎海上保安署の指導により、同様の訓練が実施されました。

なお、「漁業カイゼン講習会」については、今後、伊豆漁協においても開催が予定されています。（日程等詳細については未定）

2. 第18回フレッシュ・ミズ・プログラム開催

— JF全漁連・JF女性連 —

9月14日15日の両日、東京都中央区において、JF全漁連、JF全国女性連主催による「第18回フレッシュ・ミズ・プログラム」が開催されました。

当プログラムは、従来、視察を兼ね全国の各地域で開催されてきましたが、今回は、本年1月に立ち上げたフレッシュ・ミズ部会において部員から要望のあった「同世代の人たちと意見交換をしたい」との声を受け、会場を東京に移し、全国から50歳以下のフレッシュ・ミズ約40名が参加して開催されたもので、本県からは、南駿河湾漁協 御前崎本所女性部長 小田伸子さん（JF静岡女性連理事）と本会漁業振興課担当主任 川口照江（事務局）の二名が参加しました。

冒頭、盛合敏子JF全国女性連会長は、今年見直された新たな水産基本計画の中に「水産

3. 平成29年度サクラエビ秋漁の操業を決定

— 県桜えび漁業組合 —

県桜えび漁業組合（望月武組合長）では、9月14日 県水産会館において役員会を開催し、本年度サクラエビ秋漁の操業日等を次のとおり決定しました。

▽操業期間：10月25日（水）晩～12月25日（月）晩まで

▽休漁日：10月28日、11月2,3,4,11,18,22,25日、12月2,9,16,22,23日

なお、秋漁を前に「生産技術研修会」を、10月19日（木）14:00～大井川港漁協で、10月20日（金）14:00～由比港漁協でそれぞれ開催します。

4. 本年度トラフグ漁が10月1日に解禁

— 県ふぐ漁組合連合会 —

県ふぐ漁組合連合会（吉村理利会長）では、本年度のトラフグ漁解禁を前に、9月8日、県水産会館において、平成29年度組合員会議を開催しました。

会議では、平成29年度の操業申し合せについて再確認するとともに、静岡県水産技術研究所と国立研究法人)水産研究・教育機構 増養殖研究所の担当者から本年度の放流実績状況とその効果及び資源状況などについて説明・報告がありました。

平成29年度静岡県海域の延縄によるトラフグ漁は、主要漁場の遠州灘海域や駿河湾海域で10月1日から、駿河湾奥では11月1日から解禁となり、来年2月末まで操業が行われます。

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう